

令和5年度の大気・水環境等の状況をお知らせします ～ 年次報告書を発行しました ～

横浜市は、大気環境や水環境、交通騒音、地盤沈下の監視を継続的に行い、環境基準の適否等の現状を把握するとともに、環境保全に関する改善の取組を行っています。

このたび、令和5年度の大気・水環境、騒音・振動、地盤沈下の状況について各種年次報告書及びそれらを取りまとめた概要版を発行しましたのでお知らせします。

1 年次報告書の概要

【大気環境の状況】令和5年度 横浜市大気汚染調査報告書

一般環境大気測定局（一般局）19局と主要道路沿いに設置している自動車排出ガス測定局（自排局）8局にて大気常時監視を実施

- ◆ 二酸化硫黄（SO₂）、一酸化炭素（CO）、浮遊粒子状物質（SPM）、二酸化窒素（NO₂）、微小粒子状物質（PM_{2.5}）は、全測定局で環境基準を達成。また、横浜市環境管理計画で環境目標値（0.04ppm以下）を定めている二酸化窒素（NO₂）は、3年連続で目標を達成
- ◆ 光化学オキシダント（O_x）は、前年度に引き続き、全測定局で環境基準に対し未達成

【水環境の状況】令和5年度 横浜市公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書

「公共用水域及び地下水の水質測定計画」に従い、横浜市内河川11地点、海域7地点及び地下水（概況調査）26地点の水質測定を実施

- ◆ 公共用水域（河川・海域）において、人の健康の保護に関する環境基準が設定されている項目は、全測定地点で環境基準を達成
- ◆ 生活環境項目の代表的指標であるBOD（河川）の環境基準達成率は82%。環境基準達成率は、測定開始時より大幅に上昇し、近年は80%以上で推移
- ◆ 地下水（概況調査）において、地下水の水質汚濁に係る環境基準項目のうち、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が3地点で未達成

【騒音・振動の状況】令和5年度 横浜市における騒音・振動の測定結果報告書

- ◆ 主要幹線道路を代表する18地点で騒音測定を実施。面的評価を行った結果、評価対象の77,953戸のうち、60,370戸（77.4%）が昼夜とも環境基準を達成
- ◆ 新幹線鉄道騒音・振動は、2地点を選択し、1つの測定地点ごとに軌道の中心から3点測定し、計6地点で実施。騒音については3地点が達成。振動は6地点とも達成

【地盤沈下の状況】横浜市水準測量成果表 令和6年5月

- ◆ 主に軟弱地盤である沖積低地（171.90km²）を調査対象地域として、116地点の精密水準測量を実施したところ、20mm以上の地盤沈下なし

2 環境改善に向けた取組

大気・音環境改善に向けた取組

- ・工場・事業所からの排煙に含まれる大気汚染物質の規制指導
- ・溶剤やガソリンなどに含まれる VOC（揮発性有機化合物）の削減指導
- ・次世代自動車（電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHV)、燃料電池自動車(FCV)）の導入促進
- ・九都県市等広域で連携したディーゼル車対策、光化学オキシダント対策エコドライブ啓発
- ・道路管理者・鉄道事業者等との間で対策事例等の情報共有



排ガス測定の様子
(煙道からの試料採取)

水・土壌環境改善に向けた取組

- ・工場、事業所からの排水に含まれる COD や窒素、りん等の規制指導
- ・「東京湾環境一斉調査」など企業及び市民団体等と連携した活動の推進
- ・地下浸透規制等の適切な実施
- ・地盤沈下を監視するため、主に軟弱地盤地域の精密水準測量の実施
- ・地下水を採取する事業所への規制指導



立入検査での採水の様子

<< 公開 URL >>

各種年次報告書及び概要版は下記ホームページからご覧いただけます。

○大気・水環境、騒音・振動について

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/kanshi_center/reports.html

○地盤沈下について

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/suijun/suijun.html>



大気・水・騒音



地盤沈下

<< 神奈川県記者発表 URL >>

神奈川県全域の大気・水環境の状況等は下記ホームページからご覧いただけます。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/taiki-mizu-kisya/r5.html>

お問合せ先

<年報（大気、水質、騒音・振動）>	みどり環境局環境管理課長	古谷 智仁	Tel 045-671-2474
<水・土壌環境改善の取組、年報（地盤）>	みどり環境局水・土壌環境課長	百瀬 英雄	Tel 045-671-2803
<大気・音環境改善の取組>	みどり環境局大気・音環境課長	赤間 知行	Tel 045-671-2476

【編集後記】

このたび、大気汚染、公共用水域及び地下水質、道路・鉄道騒音振動、地盤沈下の常時監視の結果をまとめた年次報告書を発行しました。

今回は各種調査結果を簡潔にまとめた概要版も併せて発行しましたので、多岐にわたり御活用いただければ幸いです。

年次報告書は下記ホームページ及び各紹介欄の二次元コードからご覧いただけます。

○大気・水環境、騒音・振動について

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/kanshi_center/reports.html

○地盤沈下について

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/suijun/suijun.html>

令和5年度
横浜市大気・水環境、交通騒音、地盤沈下等
年次報告書（概要版）



水質測定地点
（横浜港）



水質測定地点
（恩田川都橋）



道路騒音測定地点
（東名高速道路）



一般環境大気測定局
（長浜測定局）

令和5年度
横浜市大気・水環境、交通騒音、地盤沈下等年次報告書（概要版）

令和6年7月発行

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
横浜市みどり環境局環境保全部

電話（045）671-3507
FAX（045）681-2790

横浜市みどり環境局



大気汚染調査報告書



みどり環境局環境管理課監視センターは、大気環境の状況を把握するため、大気汚染防止法第22条の規定に基づく二酸化硫黄等の常時監視（自動測定機による連続測定）や、ベンゼン等の有害大気汚染物質の測定を行っています。また、平成24年3月より、保土ヶ谷区仏向西の市有地に放射線モニタリングポストを設置し、地上1mの空間放射線量のモニタリングを行っています。

常時監視は、一般環境大気測定局（一般局）19局と主要道路沿いに設置している自動車排出ガス測定局（自排局）8局にて行っています（図1）。

- 環境基準が定められた項目について、光化学オキシダントを除き、すべての測定局で環境基準を達成
- 有害大気汚染物質、ダイオキシン類等は全測定局において環境基準を達成
- 空間放射線（ガンマ線）の年間平均値は30nGy/時（=0.030μSv/h）、最高値は54nGy/時（=0.054μSv/h）。※身体に影響のあると言われる線量は100mSv程度。出所：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（環境省）

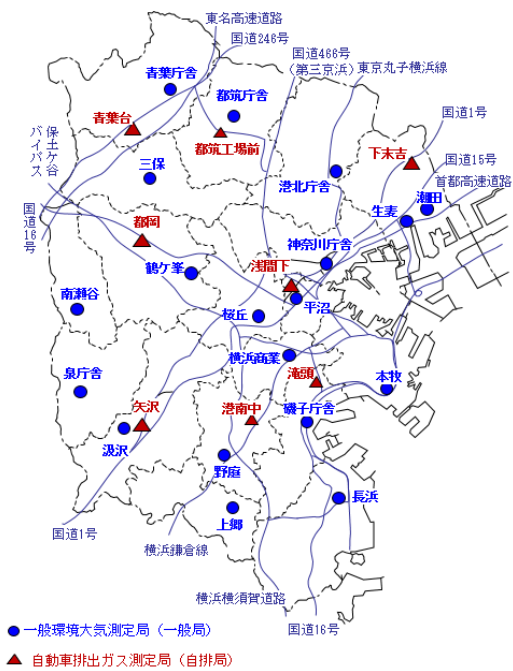


図1 大気汚染常時監視測定局の配置

※達成局数は環境基準達成局/測定局数を表す

R5	達成局数	二酸化硫黄 (SO ₂)		一酸化炭素 (CO)		浮遊粒子状物質 (SPM)		二酸化窒素 (NO ₂)		光化学オキシダント	微小粒子状物質 (PM _{2.5})	
		一般局	自排局	一般局	自排局	一般局	自排局	一般局	自排局	一般局	一般局	自排局
達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	100%	100%



公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書



みどり環境局環境管理課監視センターは、水質環境の状況を把握するため、水質汚濁防止法第16条に基づき定められた「公共用水域及び地下水の水質測定計画」に従って、河川、海域、地下水について、環境基準項目等の水質の測定を行っています。測定地点は横浜市内河川11地点、海域7地点（図3）、地下水概況調査26地点において行いました。公共用水域河川及びその底質の6地点並びに地下水6地点において、ダイオキシン類調査を行いました。また、河川4地点、地下水6地点においてペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)の調査を行いました。

- 人の健康の保護に関する環境基準が設定されている項目は、河川・海域ともに全測定地点で環境基準を達成。
- 生活環境項目のBOD（河川）の環境基準達成率は82%。海域CODの環境基準達成率は100%。
- 地下水概況調査26地点のうち、3地点において硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準を未達成
- ダイオキシン類調査において、すべての調査地点で環境基準を達成
- 河川、地下水の全測定地点においてPFOS及びPFOAの指針値（暫定）の超過なし。



図3 公共用水域の水質測定地点

※達成数は環境基準達成地点数/測定地点数を表す

R5	達成数	海域			
		BOD	COD	全窒素	全燐
達成率	82%	100%	86%	71%	

横浜市水準測量成果表



みどり環境局水・土壌環境課は、横浜市の臨海地域及び内陸部の沖積平地における地盤変動を把握するため、昭和34年から1級水準測量を行っています。令和5年度は、主に軟弱地盤である沖積低地（171.90km²）を調査対象地域として、116地点の延長140km（国土院測量の50kmを含む）の精密水準測量を実施しました。測量の結果、前年と比較が出来る成果点116地点のうち、10mm以上の沈下は7箇所確認され最大沈下量は14.0mmでしたが、20mm以上の沈下は確認されませんでした。また、隆起が4地点（3%）で確認されました。

区名	観測点数	成果点数	沈下点数	年間最大変動量		
				沈下量	町名	点番号
鶴見	7	7	7	4.7	市場富士見町	3
神奈川	8	8	6	3.1	神奈川二丁目	I 015-028
西	7	7	7	3.7	高島二丁目	236
中	0	0	0	—	—	—
南	4	4	4	9.7	中里一丁目	715
港南	2	2	2	9.3	上大岡西一丁目	I 10830
保土ヶ谷	4	4	4	4.1	天王町	801
旭	0	0	0	—	—	—
磯子	3	3	3	8.4	杉田五丁目	435

区名	観測点数	成果点数	沈下点数	年間最大変動量		
				沈下量	町名	点番号
金沢	12	12	12	12.4	六浦三丁目	517
港北	14	14	13	6.4	岸根町	930
緑	2	2	2	3.6	長津田六丁目	I 11051
青葉	5	5	5	3.7	荏田町	I 11047
都筑	3	3	3	14.0	勝田町	953
戸塚	5	5	5	3.9	戸塚町	交 35-7
栄	20	20	20	12.7	長沼町	T-39
泉	11	11	10	5.6	領家三丁目	970804A
瀬谷	9	9	8	8.1	瀬谷六丁目	S-22



騒音・振動の測定結果報告書



みどり環境局環境管理課監視センターは、騒音規制法第18条に基づき、道路交通騒音並びに鉄道騒音・振動に関する環境基準の達成状況を把握するための騒音・振動測定を実施しています。

道路交通騒音については市内の主要幹線道路を代表する18地点で測定を行い、測定結果を用いて面的評価を行いました。評価対象の77,953戸のうち、60,370戸（77.4%）で昼夜とも環境基準を達成しました（図2）。

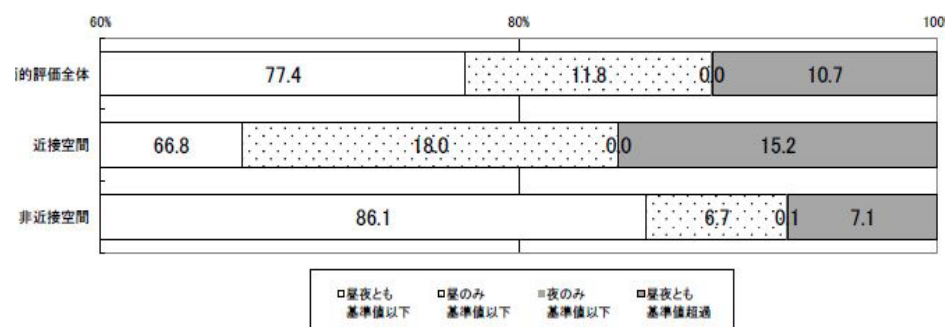


図2 面的評価集計結果

面的評価とは・・・幹線道路に面した地域（道路端から50mの範囲）において、個々の建物ごとの騒音レベルを推計し、環境基準を超過する住居等の戸数の割合を算出する道路交通騒音の評価方法です。評価の対象は住居、学校、病院等となり、工場・事業所等の非住居は対象外です。また、評価区間50mを近接空間と非近接空間に分け、異なる環境基準値で評価します。